

動くと胸が痛む、息切れ、動悸がする…

こうそく

狭心症・心筋梗塞

心臓自体の血液のめぐりが悪くなり、命にかかわることも。
適切な治療と予防で元気をとり戻しましょう！

心臓は1日に約10万回も収縮・拡張を繰り返し、全身に血液を送り出すポンプの役割をしています。この収縮・拡張する心臓の筋肉(心筋)に、酸素や栄養を含む血液をめぐらせているのが、心臓のまわりを流れている**冠動脈(かんどうみやく)**という血管です。



この冠動脈が動脈硬化などの原因で狭くなったり、つまったりすることで、心筋の血液のめぐりが悪くなり起こる病気が、**狭心症(きょうしんしょう)**や**心筋梗塞(しんきんこうそく)**といった、「**虚血性心疾患(きょけつせいしんじっかん)**」です。

【動脈硬化とは】

加齢や脂質異常症、高血圧、糖尿病、喫煙などの要因が重なって、血管が硬くなったり、血管の壁に脂肪などの固まり(プラーク)が蓄積して盛り上がったたりして、血管の内腔が狭くなる状態のことです。

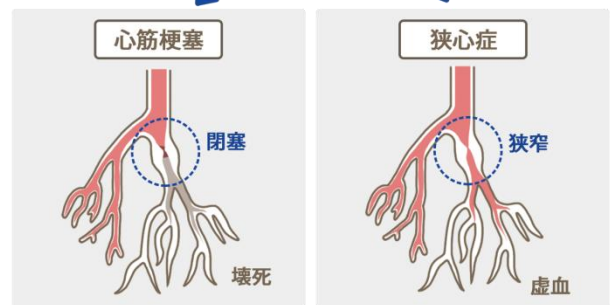
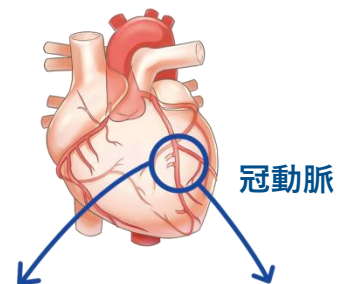
狭心症と心筋梗塞のちがい

●狭心症(きょうしんしょう)

冠動脈が狭くなり、一時的に心筋への血液が不足し、胸が痛くなる病気です。痛みは一時的で消失します。糖尿病のある方は典型的な自覚症状が現れないこともあります。

●心筋梗塞(しんきんこうそく)

冠動脈が主に血の塊で完全につまった状態です。血流が途絶え、胸の痛みは消失せず持続します。心筋の細胞が死んでしまい(壊死:えし)、命にかかわる危険な状態になります。発症後できるだけ早い治療が必要になります。



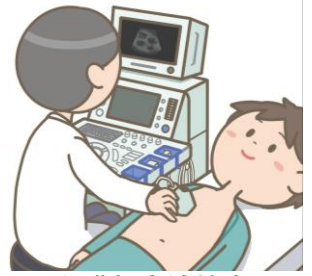
裏面は診断方法と治療、予防について→

診断と治療のながれ



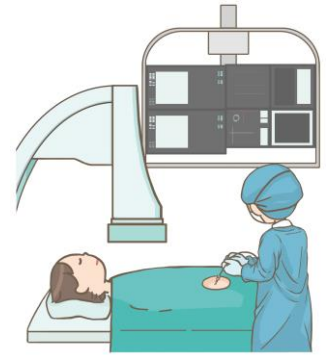
問診
胸の痛み、息切れ、動悸など、心筋の血液めぐりが悪いことによる症状の有無を確認します。

検査
心電図検査（運動負荷試験）、血液検査、心臓超音波検査、冠動脈CT検査、心臓カテーテル検査など必要に応じて行います。



[心臓超音波検査]

- 治療
- ①薬物治療（お薬を内服します）
 - ②心臓カテーテル治療
（血管内のつまりを解消する治療）
 - ③冠動脈バイパス手術
（冠動脈に血管をつなぐ手術）
* 心臓血管外科での治療になります



検査結果や患者さまの状態により、適切な治療法を検討します。 [心臓カテーテル検査・治療]

発症や増悪を防ぐため、予防が大切です

動脈硬化を悪化させる原因を改善させることが予防につながります。

- ・適切な食事と運動をして、健康的な体重を維持する
- ・脂質異常症、高血圧、糖尿病をしっかり治療する
- ・禁煙
- ・ストレスを避ける



運動

食事や運動療法を積極的に取り入れられるよう、当院では心臓リハビリや栄養指導などのサポートを行っています。まずは循環器内科を受診してご相談ください。



食事

薬治療

◆循環器内科診療日のご案内

時間／曜日	月	火	水	木	金	土
午前受付 8:00～12:00 (診察) 9:00～	松田 晶子 川辺 正之	岡島 清貴	岡島 清貴 菊池 朋子	菊池 朋子	川辺 正之	下倉 和修 ※注 副島 洋行 岡島 清貴 ※注 松田 晶子 ※注
午後受付 12:35～17:00 (診察) 14:00～	岡島 清貴	菊池 朋子	松田 晶子	下倉 和修	下倉 和修 川俣 哲也	

※注:土曜日の診療 下倉医師 第1・3週、松田医師 第2・4週、岡島医師 第5週のみとなります。

お問い合わせ先 Tel 048-665-6111 (病院代表)